

2000年度 産業社会学会（教員・院生）共同研究会一覧

回 日 時	テーマおよび報告者
第1回（5月23日）	「最近の学校のサポートについて」 野田 正人教授 「韓国における『日本文化』の受容の現状と近未来展望」 - 「日本文化解禁」措置をめぐって - 黄 盛彬助教授
第2回（7月21日）	「深井純一著『水俣病の政治経済学』を読む」 報告：大学院社会学研究科 リムゼミナール 江川 博氏・後藤 直氏・小林 昭朗氏 リム・ボン助教授 コメンテーター：深井 純一教授
第3回（9月22日）	「芸術としてのアニメーション - カナダの視点から -」 Co Hoedman氏（カナダ国立映画スタジオ）
第4回（10月5日）	「ジンバブエにおける身体表現と社会・文化」 報告：グギ・ワ・ミリエ氏（ジンバブエ・コミュニティ劇団 団長） アート・リサーチ・センター共催
第5回（10月27日）	「民主化を進める政府開発援助をめぐって：A New Agenda for Aid: Promoting Democracy with ODA」 Ian HOSACK 助教授
第6回（11月17日）	「マレーシアの多民族社会と言語教育」 林 水椽氏（マレーシア・華社研究センター主任） 国際学術交流研究会共催
第7回（11月21日）	「サイバーアート 制作と理論」 Matthias Pusch氏（ドイツ コンピューター・グラフィック・クリエイター） 国際学術交流研究会共催
第8回（11月24日）	「中国都市の地域組織構造とその変化」 夏 建中氏（中国人民大学社会学系教授） 国際学術交流研究会共催
第9回（11月27日）	「デンマークにおける風力発電の技術と産業の発展」 報告：山口 歩助教授 コメンテーター：和田 武教授

第10回（12月2日）	<p>シンポジウム：「21世紀の福祉社会建設とマンパワー形成の課題」</p> <p>パネリスト：生田 正幸氏（龍谷大学）</p> <p>芝田 英昭助教授</p> <p>廣末 利弥氏(社会福祉法人七野会)</p> <p>桐野 由美子氏(京都ノートルダム女子大学)</p> <p>コーディネーター：加藤 直樹教授</p>
第11回（12月13日）	<p>「法と社会：法変動と社会変動及び契約の歴史の変遷に関する法社会的考察」</p> <p>巻口 勇一郎氏（本学社会学研究科）</p> <p>「現代中国の社会変動と家族問題」</p> <p>鈴木 未来氏(本学社会学研究科)</p> <p>博士論文構想報告会</p>
第12回（1月11日）	<p>シンポジウム：「グローバル化のなかの市民社会と公共空間」</p> <p>報告：</p> <p>「公共空間論の新展開」 シャンタル・ムフ氏（英・ウェストミンスター大学教授）</p> <p>「世界社会における市民社会の位置」</p> <p>ボブ・ジェソップ氏（英・ランカスター大学教授）</p> <p>「日本における市民社会の多元性」 伊藤 武夫教授</p> <p>コメンテーター：篠田 武司教授，中谷 猛氏（本学法学部教授）</p> <p>国際学術交流研究会共催</p>
第13回（1月19日）	<p>「20世紀アメリカ美術 - アメリカの様式を求めて -」</p> <p>Gail Levin氏（ニューヨーク市立大学教授）</p> <p>メディア・リテラシー研究会共催</p>
第14回（3月10日）	<p>公開シンポジウム：「身体，メディアそしてイメージ」</p> <p>ハンス・ベルティング氏（カールスルーエ造形大学教授）</p> <p>高階 秀爾氏（東京大学名誉教授）</p> <p>大橋 良介氏（京都工芸繊維大学教授）</p> <p>辻 成史氏（大手前大学教授）</p> <p>国際言語文化研究所共催</p>